

野鳥観察会

日時： 令和4年6月12日9：00～11：00

場所： 能登長寿大仏からトキ能里の捕獲地（約2.5km）

主催： 日本野鳥保護連盟石川支部・能登トキファンクラブ共催

参加人数：40名



- ・ 仏心堂で20分開会式と本州最後のトキ「能里」のスライド鑑賞
- ・ 仏心堂から阿弥陀堂～弘法大師堂～ごくらく橋まで野鳥を観察
- ・ ごくらく橋～トキ「能里」が捕獲された海岸に面した水田まで野鳥観察しながら歩く
- ・ トキ「能里」捕獲場所で当時をしのび能登長寿大仏まで野鳥観察しながら歩を進め大仏前で観測会での成果報告及び閉会式を行い解散

当日は17種類の野鳥が観測されました、大物は高い枯れた松の頂きに止まる「ハヤブサ」でした、その他「ほじろ」、「カワラヒワ」、「メジロ」、「セキレイ」、「アオサギ（コロニー）」などです。

参加者の皆さんはトキ「能里」捕獲場所を見て、流石にトキ「能里」だ、よくこの餌場を見つたものだと感心しきりでした、将来は放鳥トキの餌場として復活させるべきとの声が多くありました。



野鳥のさえずり楽しむ 穴水で観察会

日本鳥類保護連盟石川支部の「自然と野鳥の観察ウォーク」（北國新聞社後援）は12日、穴水町乙ヶ崎で行われ、参加者約40人が野鳥のさえずりを楽しみながら新緑の木立を散策した。共催した能登トキファンクラブの宮下源一郎会長（同町）は、本州最後の野生のトキ（愛称・能里）が乙ヶ崎で捕獲された歴史を紹介。参加者は「朱鷺のさんぽ道」や能登長寿大仏周辺を歩き、ホオジロやヒヨドリなどの鳴き声を聞いた。



「能里」捕獲 穴水で観察ウォーク

本州最後のトキ「能里」が捕獲された穴水町乙ヶ崎周辺を巡る野鳥観察会「自然と野鳥の観察ウォーク」が開かれた。周辺の野鳥を観察しながら捕獲地を見学し、トキ放鳥に向けた機運を高めた。

日本野鳥保護連盟石川支部が主催し、能登地方での放鳥実現に向けて取り組む「能登トキファンクラブ」が協力。町内外から四十人が参加した。

観察会を前に同クラブの宮下源一郎会長が、穴水町七海でトキの営巣が確認された一九六一年から能里が捕獲された七〇年までについて写真を交えて紹介。「放鳥を実現し、トキが快適に暮らせるような環境整備に協力していきたい」と力を込めた。

続いて能登長寿大仏が鎮座する乙ヶ崎の真和園内を歩き、ホオジロやカラヒワなど野鳥の鳴き声を聞きながら望遠鏡で姿を観察。捕獲地周辺の遊歩道「朱鷺のさんぽ道」を歩き能里へ思いをはせた。

（森本尚平）